

その他の商業－その他における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	13～14	当社駐車場で、軽ライトバン横のスライドドアを開けて荷物を出していたところ、15kg位の重り（看板が倒れないように入れる為のもの）が落ちて、右足親指を骨折した。	37～49	30
5	10～11	事業所敷地内でコンクリートポンプ車の整備中に、エア・スケーラーにてコンクリート外し作業中に、太ももに針の破片が刺さった。	20	1～9
5	17～18	被災労働者は、営業所作業場において、担当のお客様がレンタルした機材をダンプに積み込む作業中、ダンプのアオリが右足の上に落下し負傷した。	54	1～9
6	14～15	団地内の公園にある側溝内の清掃をするため、U字溝の蓋を手で持ち上げた際、手を滑らせ、U字溝の蓋を左足の上に落としてしまった。その日は、痛みはあったが退勤時間まで作業し、退勤後に病院で診察を受けたところ、左足親指付近の内出血と打撲のため、1週間程度様子を見るようにとの診断を受けた。	26～299	100
7	17～18	店舗内の天井コンクリートに穴を開けるため、脚立に乗り、下から上を見上げる姿勢でドリルで作業を行っていたところ、コンクリートの粉及び鉄粉が両目に入った。	30～29	10
7	9～10	場内倉庫作業中、ガードフェンス（1800×1800）の山を（約60枚）移動しようとしたところ、資材の不安定を直そうとフォークリフトから降りて作業をしていたときに荷崩れし、高さ約2mから左足に落下させてしまい、左足腓骨を骨折した。	51	1～9
7	16～17	トラックのさび取り作業中、荷台のあおり（後方の荷台の囲い・上下の開閉する部分）の蝶番が外れ、左足に落下した。	62	10～29

7	15～ 16	本社建設機械整備場で、被災者が整備場奥の休憩室で午後の休憩をとっていたとき、同僚の整備士が急ぎの仕事で入った削岩機のビットをハンマーで叩き外して、その際、削岩機の金属片がたまたま近くで休憩していた被災者の左目に当たり、災害が発生した。	66	10 ～ 29
9	15～ 16	工場構内で、鉄くずをガス切断作業していた所、作業中の鉄くずの切断が終わったと思い確認をしようとした時、未切断の鉄くずが急に落下してきて右足甲にあたりひびが入った。	48	50 ～ 99
9	8～9	営業所のヤード内にて、エアーブレーカー（20kg）の作動点検を行う為、古タイヤを利用して試し打ちをしたところ、雨で濡れていた為に滑ってしまい誤って足の上に落としてしまった。その時には、安全靴を履いていたが、指を負傷した。	43	1～ 9
9	11～ 12	本社倉庫内にて、クレーンで鋼材（チャンネル長さ5.5m）を移動させ、降ろしてワイヤーを外しているときにチャンネルが崩れ落ち（高さ45cm）、左足に当たり、脛骨・腓骨を骨折した。	34	10 ～ 29
11	18～ 19	営業所内で、作業員A、Bの二人で0.45油圧ブレーカーのブラケットから本体の脱着作業中、ブラケットが変形しており本体が外れない為、油圧ジャッキにブッシュを足して、広げていたところ、1回目は通常通り作動していたが、2回目の作業の時に広げる事は出来たが、縮まず外れないので、作業員Aがハンマーでブッシュを叩いたところ、2～3m離れたところで見ていた被災者の右顔面にブッシュが当たり負傷した。	37	1～ 9
12	16～17	調理場で調理中にアルミ製のバットの3枚束になっている物を手を滑らせて落としてしまい、足に当たり右足小指を骨折した。	35	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html